

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 2 月 7 日 (2008.2.7)

【公表番号】特表 2007-520933 (P2007-520933A)
 【公表日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2007-028
 【出願番号】特願 2006-547360 (P2006-547360)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/765 (2006.01)

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/76 Z

H 0 4 N 5/91 L

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 12 月 7 日 (2007.12.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ビデオ信号処理装置を制御する方法であって、

チャンネルスキャンモードとダイレクトチャンネルセレクションモードのうちの 1 つを使用したチャンネル選択コマンドに対応するユーザ入力に応答して、デジタルビデオチャンネルとアナログビデオチャンネルを含む複数のビデオチャンネルから第一のビデオチャンネルを選択するステップと、

デジタル記録モードの作動に応答して、選択されたデジタルビデオチャンネルを介して受信されたプログラム信号をストレージ装置に転送するステップと、

前記デジタル記録モードの間に前記ユーザ入力に応答して、前記複数のデジタルビデオチャンネルとアナログビデオチャンネルのうちの新たな 1 つを選択するステップと、

前記チャンネルスキャンモードが使用された場合、チャンネルスキャンシーケンスにおいて次のデジタルビデオチャンネルを選択し、前記チャンネルスキャンシーケンスにおいて現在選択されたビデオチャンネルと次のデジタルビデオチャンネルとの間で介入するアナログビデオチャンネルをスキップし、前記デジタル記録モードを維持するステップと、
 を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記ユーザ入力が入力された前記ダイレクトチャンネルセレクションモードを使用し、前記選択されたチャンネルがアナログビデオチャンネルに対応する場合、前記アナログビデオチャンネルを選択し、前記デジタル記録モードを終了するステップと、前記選択されたチャンネルがデジタルビデオチャンネルに対応する場合、前記デジタルビデオチャンネルを選択し、前記デジタル記録モードを維持するステップとを更に含む、

請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記デジタルビデオチャンネルは、それぞれメジャー及びマイナーチャンネル番号により指定され、新たに選択されたビデオチャンネルが新たなメジャーチャンネル番号を有するサブチ

チャンネルに対応する場合、前記指定されたバッファに記憶されているプログラム信号を消去する、

請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

チャンネルスキャンモードとダイレクトチャンネルモードのうちの 1 つを使用してチャンネル選択コマンドを含むユーザ入力を受信する手段と、

前記チャンネル選択コマンドに応答して複数のデジタルビデオチャンネルとアナログビデオチャンネルのうちの 1 つを選択し、前記ビデオチャンネルの選択された 1 つに関連するプログラム信号を取得する手段と、

装置が記録モードにあるとき、デジタルバスを介して選択されたプログラム信号からストレージ装置に転送する手段と、

前記受信手段、選択手段及び転送手段に結合され、ユーザ入力に応答して当該装置の動作を制御する手段とを有し、

受信されたチャンネル選択コマンドが前記チャンネルスキャンモードを使用する場合、前記選択手段は、チャンネルスキャンシーケンスにおいて次のデジタルビデオチャンネルを選択し、現在選択されたビデオチャンネルと次のデジタルビデオチャンネルとの間で介入するアナログビデオチャンネルをスキップし、前記デジタル記録モードを維持する、ことを特徴とする装置。